

区画整理審議会選挙ニュース

西口整備を考える会	代表	中根 康雄
西口まちづくりを考える会	代表	荒木 進造
羽村駅西口区画整理反対の会	代表	山下 一夫

住環境の破壊と住民負担の大きい区画整理に反対。現道を生かしたまちづくりを！

区画整理審議会委員 投票日

2月24日(日) 午前7時～午後8時
東小学校多目的教室

「住環境や住民への負担の大きい区画整理に反対。現道を生かしたまちづくりへの見直し」を求め、平成25年9月、地権者427名の署名を共に提出した「西口整備を考える会」「西口まちづくりを考える会」「反対の会」が合同で選挙に臨みます。

- あなたは長い仮住まいや、二度の引っ越しに耐えられますか。
- 見通しの立たない事業のために、人生設計を狂わされていませんか。
- 美しい故郷を守りたいと思いませんか。破壊されれば2度と元には戻りません。
- 不公平な換地について、審議会の透明性や情報の公開が必要です。

自分たちの生活や権利を守るため、私たちに投票してください

借地権者の方が投票する候補者

小倉 弘之

清田 としお

かみやしき 和子

野崎 清代

山下 一夫

所有者(地権者)が投票する候補者

私たち候補者の主張

- ①広い道路を造るため、総事業費 370 億円で 1,000 棟の取り壊しや移動をする区画整理事業は、人口減少時代に逆行しています。
- ②事業期間 20 年の 17 年目で進捗率は 15 %。30 年延長計画は「長すぎて社会経済情勢が見通せない」と国・都が認めません。
- ③事業の強行で、これまでに 50 棟以上が取り壊されたが、換地先に戻れたのはわずか。多くが不自由な仮住まいを強いられ、最長は 12 年。区画整理による住民の精神的、金銭的負担は計り知れません。
- ④自然に恵まれ歴史に育まれたこの地域を、次世代に引き継ぐのが私たちの役割です。
- ⑤審議会を通して事業のチェック、問題点を明らかにし、地権者の権利を守ります。

☆ 応援します

子や孫たちに大きな負担が及ぶ 区画整理の見直しを求める！

西口整備を考える会 代表 中根康雄

区画整理事業は、施行者が土地を一方的な尺度で評価し、地権者から土地(減歩)や清算金を取り上げる事業です。

市から送られてきた書類では、今の家が換地先に入るのか、地盤の高さ等の環境がどうなるのか、また換地先が従前どのように使われていたか等がわかりません。お墓や井戸の上かもしれません。市は意見書を出した人の85%を不採択にして、強行しています。

移転のための家屋解体や家の建替え、仮住まい、2度の引っ越しなど、このまま進められると色々な問題が発生して、生活が破壊されてしまいます。

清算金の徴収額が決まるのは、事業が終了してからです。事業完成の見通しが立たなくなった今、負担は子や孫にかかってくる事になるでしょう。数十年後のある日突然、何時までに〇〇〇万円払って下さいと通知が届きます。皆さんは、お子さんや、お孫さんに責任を持ってこの事業を引き継ぎますか。

私達は、羽村市が「現道を活かし見直すので懇談会に参加するように」と述べたため、並木市長と15年間も話し合ってきましたが、現道を活かす見直しは行われませんでした。住民をないがしろにする羽村市には、協力出来ません。

長くなっていますが、今の生活、今住む家を守る為には、最後まであきらめず、結束することが一番大事と思います。

平成31年2月7日 西口まちづくりを考える会代表 **荒木進造**